

# 横須賀市中小企業景況レポート

第6号（平成26年4月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行う、景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団（以下「財団」と表記）がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：193社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査177社）
- ③ 調査期間：前期・・・平成25年10～12月の景況感（調査時点 平成25年12月1日）  
今期・・・平成26年1～3月の景況感（調査時点 平成26年3月1日）  
次期・・・平成26年4～6月の景況感（ ” ” ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：DI値算出による（次ページにDI値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\*DI値調査結果は裏面に記載

全業種の景況感は、前期の4Pから△2Pとなり、6P悪化しました。

業種別では、製造業が2Pとなり23P悪化、サービス業が△8Pとなり10P悪化してしまいました。

卸・小売業は△19Pとなり8P改善しました。

建設業は△4P、不動産業は3Pと概ね横ばいでした。

次期に向けては、サービス業が14Pの改善となっている以外は、悪化の予想となっています。

全業種の項目別で見ると、雇用人員は△25Pとなり、前期の△22Pに引き続き、人材不足感が非常に大きくなっています。

収益や資金繰りはそれぞれ△2P、△7Pと、引き続きマイナスではありますが、前回から2P、8Pの改善となりました。

売上額については、5Pのまま横ばいでしたが、次期については△8Pと、13P悪化する厳しい予想となっています。

また昨年同期との売上額の比較については、3.3Pとなり、前回の8.5Pから悪化しました。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）

- |                   |   |              |   |
|-------------------|---|--------------|---|
| ○良い：15P以上         | ↑ | ○やや良い：6P～14P | ↗ |
| ○変わらない（普通）：△5P～5P | → |              |   |
| ○やや悪い：△6P～△14P    | ↘ | ○悪い：△15P以下   | ↓ |

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

### (1) 製造業 2 <変わらない> →

景況感は前期より「良い」という声が減り、「悪い」という声が増えたため、DI 値は 23P の大幅な悪化となりました。

資金繰りは 6P 改善し 0P となりましたが、他の項目は悪化となりました。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・開発担当と営業担当の緊密な連携による営業努力が実を結び、取引量が増加している。
- ・売上げの 7 割が輸出であり、円安の影響で良い結果が出ている。また、親会社との単価交渉や作業工程の見直しなどで利益が向上した。
- ・単価が高い商品なので、消費税増税前の駆け込み需要が多いが、増税後どうなるかの見通しが難しい。
- ・全体的には仕事が少し増加している感覚だが、売上げや収益に結びついていない。
- ・採算割れでも受注する同業者がいるため、利益率は低下傾向にある。
- ・人手不足により工賃が上がり、発注コストが上がっている。

### (2) 建設業 19 <良い> ↑

景況感は前期より「良い」「悪い」とともに増加し、DI 値は 4P のわずかな悪化となりました。

項目別では、雇用人員が 13P の悪化で△53P となり、前期に引き続き人手不足感を最も感じる業種となりました。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・消費増税に伴い、駆け込み需要が続いている。
- ・修理、修繕工事は少人数で足り、短期で収益が見込めるため、大手との差別化を図るためメインで取り組んでいる。
- ・工事需要は増えているが、利幅のとれない仕事が多く、結果として受注額の減少となっている。
- ・工事受注の見通しは順調だが、工事期間中の資金繰りや、完了後の代金回収が厳しい状況にある。
- ・発注は増えているが、人手不足により受注機会を失っているため、人員確保が課題である。

(3) 卸・小売業  $\Delta 19$  <悪い>



景況感は前期の $\Delta 27$ Pから8P改善しましたが、依然として $\Delta 19$ Pと低いままでした。売上額は11P悪化し $\Delta 17$ Pとなりました。

他の項目については改善されましたが、依然としてマイナスであり、厳しい状況が続いています。

☆事業者の主な声☆

- ・飲食店の廃業等で、販売先が減少したため、売上げ、収益に影響している。配達、御用聞きなどを強化して、売上げ増加を目指す。
- ・円安の影響で、昨秋以降のモデルから実質的な値上げとなり売上げが低調である。
- ・雪の影響で売上げが減少した。
- ・近所の住民が高齢となり、買い物に不自由しているため、何か対策を取る必要がある。
- ・消費税の増加分は転嫁できると思うが、別途システム改修などの関連コストがかかる。
- ・ネット通販などが軌道に乗り始め、新しい体制作り着手している。

(4) 不動産業 9 <やや良い>



景況感はわずか3Pですが改善し、9Pになりました。

各項目は全て改善し、特に売上額は $\Delta 14$ Pから34Pの大幅な改善となり、20Pとなりました。

☆事業者の主な声☆

- ・オフィスの空室率・個人の賃貸相場は回復しており、アベノミクス効果が伺える。
- ・消費税率が上がることに伴い、駆け込みで需要が増えたことにより売上げが伸びた。
- ・在庫物件を順調に消化しているが、仕入れ部分で最近折り合いがつかないことが多く、仕入れ確保に注力している。
- ・慢性的に建築業者の人手が不足しており、建築に時間を要することを懸念している。
- ・増税後の4月以降は、予想が難しく、停滞する可能性もある。収益確保のため当社では賃貸料等の安定収入の充実を図る。

(5) サービス業  $\Delta 8$  <やや悪い>



景況感は10P悪化し、 $\Delta 8$ Pとなりました。

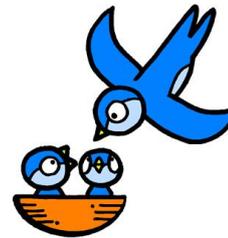
項目別では、雇用人員が3Pの悪化となり $\Delta 31$ Pと、依然として人手不足な状況ですが、他の項目は全て改善しました。

☆事業者の主な声☆

- ・燃料代、原料の仕入れ代に増税の影響があり、売上げが変わらなくても収益が悪化することが予想される。
- ・メーカーとの兼ね合いにより、売上げ増加分が必ずしも利益増加につながっていない。
- ・薄利多売により売上げが増加した。
- ・コンサルティング業務の拡大を図った結果、売上げ増加につながった。企業マインドも上昇傾向が見受けられる。
- ・新たに導入した高品質・高価格商品が好調であり、売上げ・収益ともに増加した。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成25年10～12月の景況感（調査時点 平成25年12月1日）  
 今・・・今期 平成26年1～3月の景況感（調査時点 平成26年3月1日）  
 次・・・次期 平成26年4～6月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	186	44	30	51	15	46
今期	193	47	38	49	11	48
次期	192	46	38	49	11	48

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	30	23	15	45	30	15	33	37	13	18	16	10	33	27	27	24	13	19
	変わらず	44	52	55	35	42	52	57	45	61	37	49	43	40	55	46	54	66	68
	悪い(B)	26	25	30	20	28	33	10	18	26	45	35	47	27	18	27	22	21	13
	DI値(A)－(B)	4	△2	△15	25	△2	△18	23	△19	△13	△27	△19	△37	6	△9	0	2	△8	6
	今－前、次－今	△6	△13		△23	△20		△4	△32		8	△18		3	△9		△10	14	
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	30	29	20	39	30	17	37	45	18	27	24	10	13	40	36	26	19	29
	変わらず	45	47	52	41	49	53	50	34	61	40	35	45	60	40	28	48	66	58
	悪化(B)	25	24	28	20	21	30	13	21	21	33	41	45	27	20	36	26	15	13
	DI値(A)－(B)	5	△5	△8	19	△9	△13	24	△24	△3	△6	△17	△35	△14	△20	0	0	△4	16
	今－前、次－今	0	△13		△10	△22		0	△27		△11	△18		34	△20		4	12	
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	20	22	13	36	23	13	17	32	11	14	16	2	27	27	18	13	19	23
	変わらず	56	54	56	46	58	52	76	42	57	49	49	59	46	55	55	61	62	58
	減少(B)	24	24	31	18	19	35	7	26	32	37	35	39	27	18	27	26	19	19
	DI値(A)－(B)	△4	△2	△18	18	△4	△22	10	△6	△21	△23	△19	△37	0	△9	△9	△13	△0	4
	今－前、次－今	2	△16		△14	△26		△4	△27		4	△18		9	△18		13	4	
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	3	5	5	14	9	9	0	0	3	0	8	4	0	9	18	0	0	2
	適正	72	65	73	68	61	78	60	47	42	75	76	88	93	91	82	72	69	75
	少ない(B)	25	30	22	18	30	13	40	53	55	25	16	8	7	0	0	28	31	23
	DI値(A)－(B)	△22	△25	△17	△4	△21	△4	△40	△53	△52	△25	△8	△4	△7	△9	18	△28	△31	△21
	今－前、次－今	△3	8		△17	17		△13	1		17	4		16	9		△3	10	
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	楽である(A)	9	12	7	14	19	13	10	8	0	4	4	2	20	20	0	7	15	15
	さほど苦しくない	67	69	72	66	62	61	73	79	84	53	65	67	67	80	100	78	70	72
	苦しい(B)	24	19	21	20	19	26	17	13	16	43	31	31	13	0	0	15	15	13
	DI値(A)－(B)	△15	△7	△14	△6	△0	△13	△7	△5	△16	△39	△27	△29	7	△20	0	△8	△0	2
	今－前、次－今	8	△7		6	△13		2	△11		12	△2		13	△20		8	2	

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答 152社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	57社	37.5%	38.8%
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	43社	28.3%	30.9%
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	52社	34.2%	30.3%
DI値(A)－(B)		3.3P	8.5P

